

令和3年度 政策評価調書

大項目 (分類)	経済・産業	中項目 (政策の柱)	海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展	政策 コード	2(5)
関係部局	総合政策部 経済部 農政部 水産林務部				

【社会経済情勢（現状・課題）】

人口減少に伴う国内市場の縮小や道内消費の減少が懸念され、力強い経済の構築に向けて海外の成長力の取り込みが求められる中、本道の輸出額は、リーマンショックの影響により2009（平成21）年に大きく落ち込んだが、その後はプラスとなり、2014（平成26）年には4,787億円と、対前年比で5.1%増加した。
また、食品の輸出額は、2012（平成24）年までは350億円前後で推移していたが、輸出努力などもあり、水産物などの輸出額が増加し、2014（平成26）年には663億円と過去最高の水準となった。

【政策の概要】

- アジアなど海外への北海道産食品の輸出拡大 【2(5)A】
 - 道内各地の資源を活かし、海外需要の積極的な取り込みを図るため、「北海道食の輸出拡大戦略」により、品目別、国・地域別、テーマ別の展開方向などを明らかにしながら、官民一体となって北海道産食品の輸出拡大に取り組みます。
 - ASEANをはじめとした海外に北海道産食品を積極的に売り込むため、食の輸出拡大戦略の基本戦略である商流・物流網の整備や輸出支援体制の確立などを推進するとともに、機能性食品市場やイスラム圏市場など、成長が期待される新たな海外市場への展開を進めます。
- 海外展開によるビジネス創出と海外からの投資の促進 【2(5)B】
 - 海外の成長力を積極的に取り込むため、海外交流拠点を中心に、官民連携による北海道ブランドの浸透や人的・物的交流の活発化を推進します。
 - 国内外において高い評価を得ている本道のブランドイメージを幅広い分野や地域に拡大するため、本道の魅力や強みを丸ごと世界へ発信する「クールHOKKAIDO」の取組を加速します。
 - 道内企業のアジア地域におけるビジネスチャンスの拡大を図るため、現地進出企業をはじめとする海外ネットワークを活用し、北海道産品のPR強化など販路拡大の取組を推進するとともに、道内企業の海外展開を促進します。
 - 本道にメリットのある海外からの投資を促進するため、本道の優位性や潜在力などを世界へ向け発信し、海外でのプロモーションなどの取組を進めます。
 - ロシア極東地域との経済交流を推進するため、サハリン事務所などのネットワークを活用し、食や健康、エネルギーなど社会的課題の解決を通じた道内企業の参入を促進します。
また、本道産業の強みや地理的な優位性を活かした人流・物流の拡大を図るとともに、北極海航路に期待される効果を踏まえ、利活用に向けた取組を進めます。

【総合計画の指標達成状況】

成果指標	指標名（単位）	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	達成率
	道産食品輸出額(億円)		1,014	1,182	1,043	1,500
輸出額(億円)		3,970	3,121	2,297	6,000	38.3%

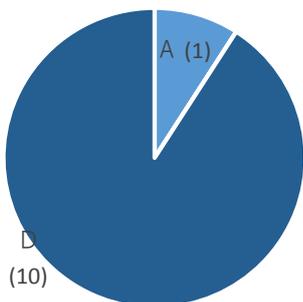
【政策を構成する施策の評価結果】

政策コード	施策コード	施策名	総合判定
2(5)A	02041	物流機能の強化	遅れている
2(5)A	05031	道産食品の輸出拡大	やや遅れている
2(5)A	06013	海外への道産農産物の販路拡大	遅れている
2(5)A	07044	道産水産物の国際競争力の強化	遅れている
2(5)B	02042	地理的優位性を活かした物流の拡大	遅れている
2(5)B	02051	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓（ロシアほか）	遅れている
2(5)B	05081	世界の中の北海道を意識した海外市場の開拓（ASEAN、東アジアほか）	遅れている
施策の評価結果から算出した進捗状況			やや遅れている

大項目 (分類)	経済・産業	中項目 (政策の柱)	海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展	政策 コード	2(5)
関係部局 総合政策部 経済部 農政部 水産林務部					

【施策評価の指標の達成状況】

【補助指標の達成状況】

指標の達成状況	指標判定	指標数	指標の達成状況	指標判定	指標数
	A	1		A	0
	B	0		B	0
	C	0		C	0
	D	10		D	0
	判定不可	0		判定不可	0

【前年度二次評価意見】

区分	コード	施策名	事務事業	今後の取組の方向性
施策	05031	道産食品の輸出拡大	道産食品輸出企業海外進出促進事業費（創生交付金）	国内外における新型コロナウイルス感染症による需要減の見込等を踏まえた上で、施策や事業のあり方、また、設定指標について適切に検討すること。

【評価委員の意見】

成果指標の目標が大きすぎるものが見られることや施策の進捗状況の把握が難しいものがあることから、道が行う取組との関連性がわかるような指標を設定し、海外の成長力を取り込んだ持続可能な取組を推進すること